

令和2年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
ちむぐくルール説明会および新型コロナウイルス感染症第2波の現場対応について

- 日 時：令和2年7月22日（水） 午後7時00分～9時00分
- 場 所：沖縄県医師会・3階ホール
- 参加者：37名（23施設）

テーマ①：『新型コロナウイルス感染対策について』

講 師：沖縄県看護協会 感染管理認定看護師 谷村 久美 氏



テーマ②：『医療機関の状況について』

講 師：沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部
医療コーディネーター 佐々木 秀章 氏



テーマ③：『感染者発生時の対応について』

講 師：那覇市保健所 所長 仲宗根 正 氏



テーマ④：『ちむぐくルールの活用について』

講 師：那覇市医師会 在宅医療担当理事 嘉数 朗 氏



司会：佐久川 伊弘 氏



開会挨拶：喜納 美津男 氏



閉会挨拶：宮城 寿満子 氏



説明：上原 善周 氏



説明：與那嶺 康 氏



説明：末吉 淳志 氏



『ちむぐくルール説明会および新型コロナウイルス感染症第2波の現場対応について』

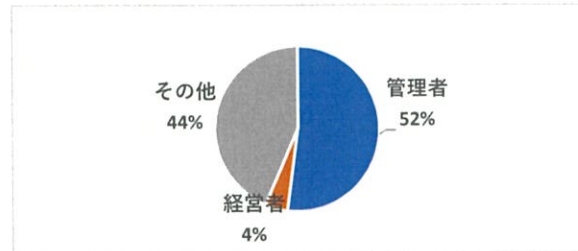
(令和2年7月22日(水)) 場所: 沖縄県医師会・3階ホール)

参加施設: 23施設、回答施設: 23施設 (回収率: 100%)

1. 参加者の役職の内訳

職種	施設数
管理者	12
経営者	1
その他	10
総計	23

その他 (生活相談員4、看護師1、不明5)



2. 『ちむぐくルール説明会』についてご意見・ご感想

- ・ 今日のように説明会等があれば現場にも周知できるので、次回も参加したい。
- ・ 現在終末期の用紙はあるが、コロナ用の用紙もあった方がいいのか? 再度、家族と相談した方がいいのか?
- ・ 当施設でもちむぐくルールを職員へ周知し、しっかりと生かしていきたいと思います。
- ・ 小冊子で誰でも (施設の職員の休憩室などの設置など) 手に取りやすいサイズで、2~3冊欲しいと思いました。
- ・ 施設内で再度勉強会を開いていきたい。
- ・ コロナだけでなく、全体的に見直すことがありとても良かった。
- ・ ポイントが簡潔にまとめられていて、また分かりやすい説明で理解がしやすかったです。
- ・ 県内の底上げをしていきたいです。
- ・ 今後施設内で改めて話し合いの場をもつ。
- ・ 参考にさせていただきます。
- ・ 短い時間で説明していて少しながらも気持ちが和らいだ。
- ・ とても分かりやすく出来ており、皆で有効活用することで利用者の安心・安全を提供できると思います。

3. 『新型コロナウイルス感染症第2波の現場対応について』ご意見・ご感想

- ・ 医師からの声もきけて、現在のコロナウイルス状況がわかりやすかった。
- ・ 今年の12月は恐れていました。収束が全く分かりません、見えませんというのが実情ですね。どうの対処していくのか大きな課題です。
- ・ 持ち込むのは職員ですので、絶対に持ち込まないと意識し業務に取り組みたいと思いました。
- ・ 衣類、リネンを80°Cで10分付け置きとあるが、10分間80°Cでないといけないのか。それを80°Cでキープしないといけないのか。
- ・ 大変勉強になりました。当施設でもまだ対応策について不完全な状態なのでここでしっかり感染対策をしていきたいと思います。
- ・ 万が一、コロナ感染者が職場で発生した場合の対応が分かりやすかった。しかし、救急搬送の判断は施設毎での管理者の能力次第かと感じました。
- ・ 再度対策を考えルールを作りたいと思います。
- ・ 発症者が多くなった時は独自で対応しなければならない・とても不安になりました。施設では、とても厳しい状況なので、万が一の想定時の確認も利用者、家族、職員 (実施済) へする必要性を感じた。
- ・ 現状が把握できました。12月の予想通りにならないように県民での予防が大事。
- ・ 今後ちむぐくルールを参考に話し合う。
- ・ 県外より渡航者が増えているのが心配です。4月よりも予防策を強化しました。訪問診療医の指導を受けて、受診方法を変更した。
- ・ 老人ホーム入居者に感染者が出たら入院できない状況も想定されるとの話に不安になった。スタッフの欠員に対しても各施設で考えないといけないのかとショックを受けた。
- ・ 第1波の経過を踏まえ、自分たちの職場 (施設等) で第2波に向けて何が出来るか事前に話し合うことが重要。

4. 那覇市医師会、チャージンじゅう課へのご意見・ご要望

- ・ このような説明会はとても勉強になるので、今後も是非行って欲しい。
- ・ 今後も勉強会を開催していくことを願っています。危機意識を持つことの重要性を認識するために。
- ・ 医療現場 (介護現場) が大変なことをもっと周知させて欲しい。
- ・ 対策と同様、支援者が濃厚接触者など発生した場合、その後の風評被害も心配です。その際、入居者、職員の生活を守るために、適格な情報の扱いを医師会を通してお願いしたいです。
- ・ FAXでの情報提供は、とても助かっています。